

長岡市の主な取り組み

米百俵プレイス ミライエ長岡の整備

「人づくりと産業振興」を総がかりで支える地方創生の拠点



互尊文庫

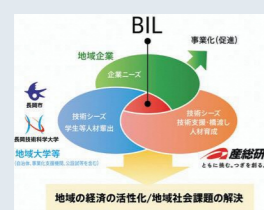
「暮らし」を豊かにする本、「しごと」に役立つ本、日常の「ひらめき」につながる本をそろえ、日々の生活の課題解決をサポートする図書館。居心地の良い空間はサードプレイスとしてリラックスの場に。



NaDeC BASE

企業人や起業家、学生、研究者などの多様な人材が集まる場所。それぞれが持つ知見や発想を共有し、産産連携、産学連携、大学連携などの「オープンイノベーション」を進め、次代に対応する人材育成と産業振興を目指す。

長岡・産総研生物資源循環BIL



長岡市、産業技術総合研究所、長岡技術科学大学の3者が、「有機廃棄物を含む生物資源の資源循環」をテーマとした研究開発や、長岡市とその周辺地域の食品・バイオ関連等の企業支援を連携して行う拠点

産学協創センター



産業界と4大学1高専との協創など企業からの相談に応じるワンストップ窓口。産学連携の一つの交流拠点として「きっかけづくりの場」を目指す。

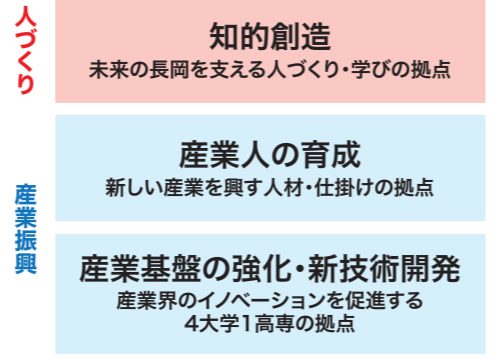
NAGAOKA WORKER

長岡に暮らしながら首都圏の企業にリモートワークで勤める新しい働き方。令和3年1月に株USEN-NEXT HOLDINGS(現(株)U-NEXT HOLDINGS)と協定を締結し、長岡ワークモデル賛同企業79社と「長岡ワークモデル」の普及を促進



起業支援

段階的な起業支援「ファーストベンギンプログラム」
起業講座「リーンローンチパッドプログラム」



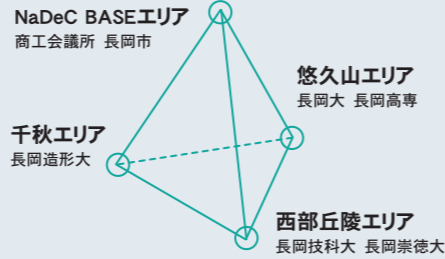
人づくり

産業振興

創出

まちなかから市全体へ

・長岡全域のイノベーション
・新たなにぎわいと回遊性を高める人の流れ



NaDeC構想

市内4大学1高専の持つ専門性、最先端工学からデザイン、マーケティングなどの強みを活かして、人材育成と産業振興に取り組む。

中学生向け講座
「ミライエデジタルクラブ」



起業相談



小学生向け講座
「化学のチカラでスノードームをつくらう!」



小学生向け講座
「ドローンを組み立てて飛ばそう」



次第に、そして着実に

繋がる、広がる、イノベーションの鼓動



産産・産学の交流セミナー
「バイオサロン」



高校生の企画による講座
「長岡をリボンでつなげるプロジェクト」



中学生向け講座
「ミライエデジタルクラブ」



学生による学生のためのマルシェ
「まちなかぶんかさい」



プレイスメイキング実証実験
(イーストスクエア)

日本初
イノベーション地区
Vol.2

さらなる展開を目指して



長岡市中心市街地整備室

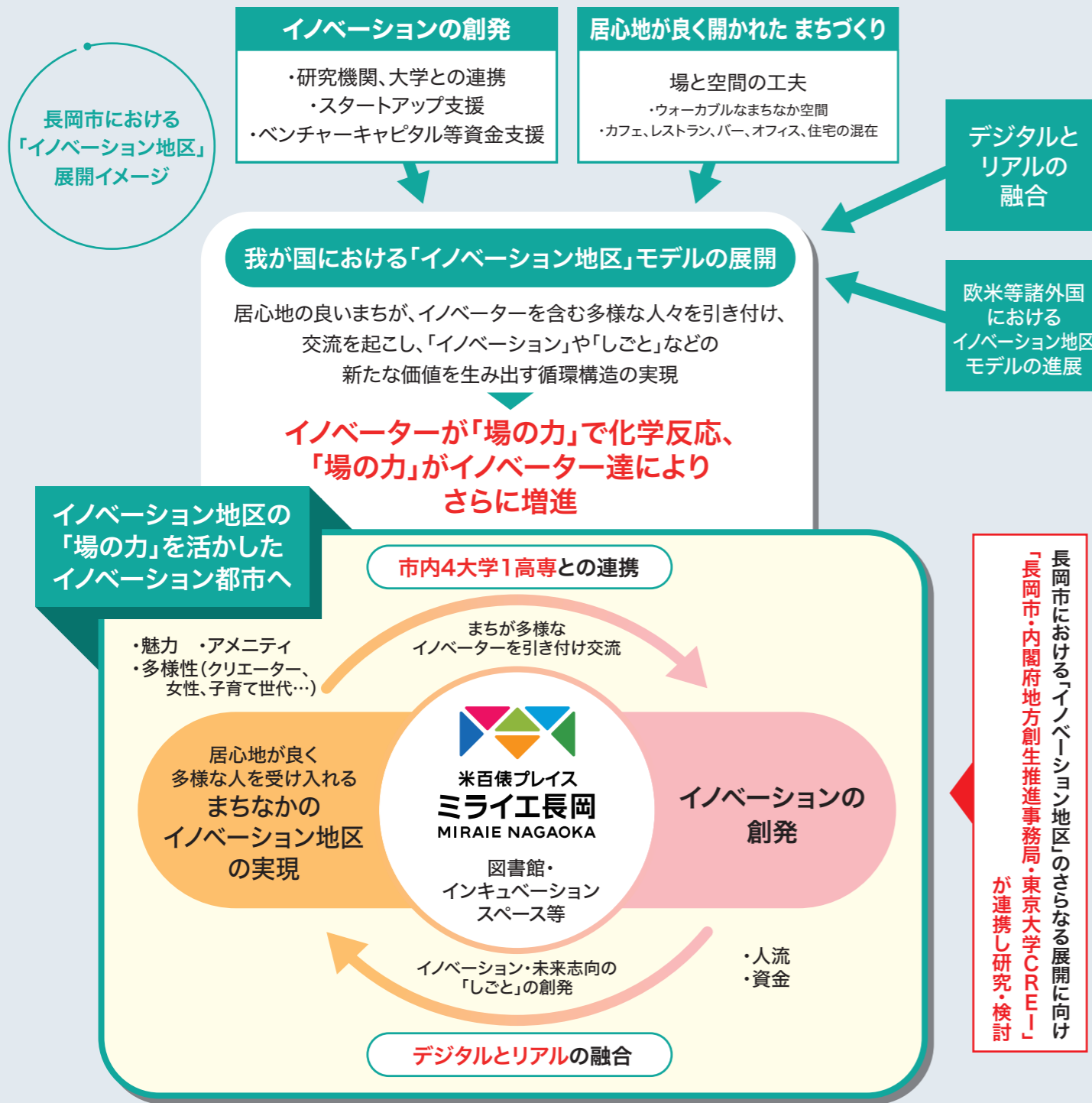
〒940-0062 長岡市大手通2丁目6番地 フェニックス大手イースト7階

TEL 0258-39-2807 FAX 0258-39-2827 E-MAIL shigaichi-seibi@city.nagaoka.lg.jp



目指すもの

日本初の「イノベーション地区」を長岡市で実現する事



実績・経過報告

研究連携協力に関する協定を締結

長岡市 × 内閣府地方創生推進事務局 × 東京大学連携研究機構CREI*

場の提供 展開 評価・検証

国内初の「イノベーション地区」創設を目指し、デジタル技術の活用やウォークアブルなまちなかの実現等、イノベーションが生まれる都市(まち)の条件について、長岡市をモデルに継続的に評価・検証を行うため、令和4年3月30日に研究連携協力に関する協定を締結しました。

(令和7年3月28日 延長協定を締結)

*CREI: 不動産イノベーション研究センター (Center for Real Estate Innovation)



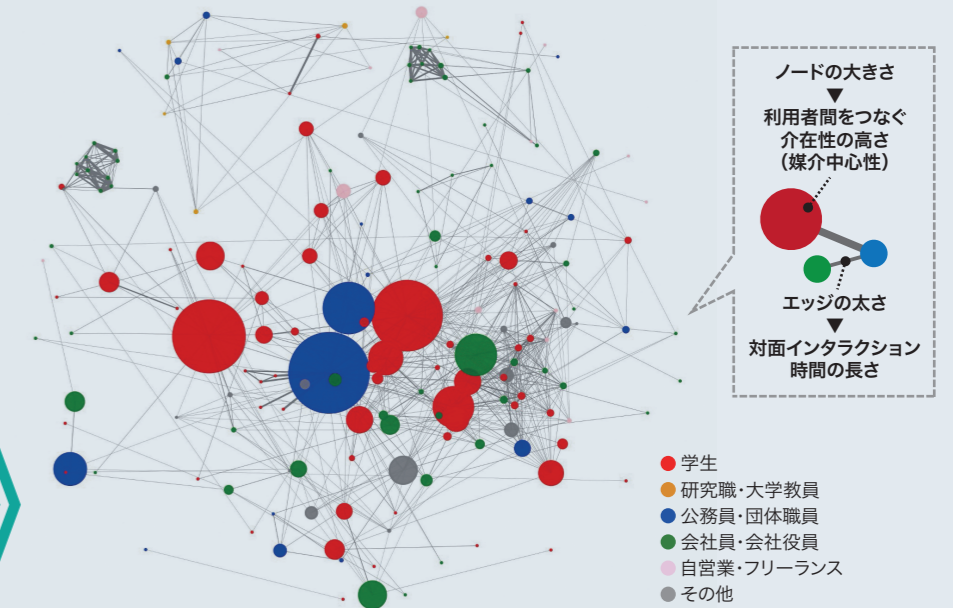
主な取り組み

NaDeC BASE におけるインタラクション分析

東京大学 CREI

人間工学的な視点での「場」の重要性、イノベーション創発の生態系・メカニズムをマイクロレベルで分析

Face-to-Faceインタラクションの回数・時間を把握し、イノベーション創出事例(起業、業務拡大、地域の困りごと解決など)の関係を解析



観察・分析結果

こちらのネットワークは施設内で生まれたつながりが、組織を超えて多様に行われていることが示されています。様々な人とのコミュニケーションは新しい知識の獲得につながり、イノベーション創発の可能性が高まります。そのほか、利用者同士をつなぐコミュニケーションの価値の把握やイベント前後でネットワークを観察することで、イベントを定量的に評価することができます。

出典 長谷川大輔。(2024). オープンイノベーション創発のための対面インタラクションの効果分析 - 新潟県長岡市 NaDeC BASEを対象として. 季刊不動産研究, 66(2), 44-49.

イノベーション地区とは?

「場の力」を活用したイノベーション創発を目指す下記に示す地域

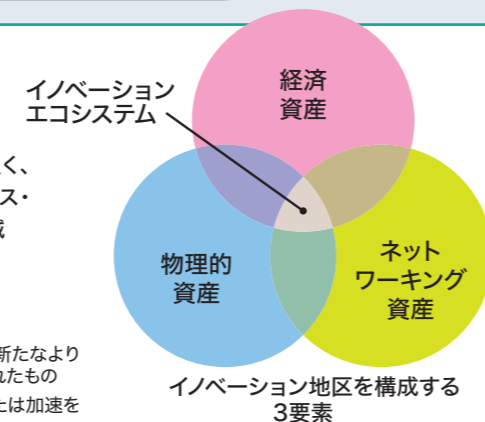
- 大学・研究機関、インキュベーション施設、ベンチャー企業、事業創発・発展を促進する企業・団体等が効果的に連携・集積している地域
- 物理的にコンパクトで交通の便が良く、ネット環境が整備され、住宅・オフィス・小売店・飲食店等が混在している地域

※世界には、約70か所のイノベーション地区があるとされている。
※Brookings研究“The Rise of Innovation Districts”より訳して引用

経済的資産: イノベーション豊かな環境を推進し、育成し、又は支援する企業、機関、組織

物理的資産: 建物、オープンスペース、道路、その他のインフラなど、公共及び民間所有のスペースであり、新たなより高いレベルの連結性、コラボレーション、イノベーションを刺激するように設計され、組織化されたもの

ネットワーク資産: 個人、企業、機関などといったアクセラレーター間の関係であり、アイデアの創出、深化、または加速を促進する可能性を有するもの



GIID グローバルネットワークに参画

*GIID: Global Institute on Innovation Districts

東京大学 CREI

東京大学CREIは、イノベーションの創発機能を高めるためのまちづくりに関する研究の一環として、イノベーション地区の国際的な専門研究機関であるGIIDのグローバルネットワークに参画。グローバルネットワークから得られる知見を活かし、長岡市のイノベーションまちづくりに反映。



中心市街地活性化ラボ

内閣府

内閣府は、中心市街地活性化プラットフォームにおける試みとして、「イノベーションが生まれるをまちなかを目指して」をテーマに長岡市で「中心市街地活性化ラボ」を開催。

